

日本医療機能評価機構認定病院



公立山城病院新聞

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

2007
Apr

発行元 公立山城病院

発行元責任者 中埜 幸治

石田大志副管理者就任の挨拶



このたび平成十九年四月一日付けで国民健康保険山城病院組合の副管理者に就任いたしました石田でございます。

当山城病院は、京都府南部地域の公的・中核的病院として、京都府の保健医療行政においても大変重要な位置を占めていると伺っております。このよう

な立派な病院の経営に携わることとなり、大変光栄に感じております。と同時に、自らの職務の重さに身の引締まる思いもいたしております。

さて、皆様方ご承知のように、急速な高齢化社会の到来、疾病構造の変化、医学・医療の高度・専門化などに伴い、近年の医療需要は多様化する傾向にあります。このことは、医療ニーズの量から質への転換を意味しており、今後はより良質な医療の提供が必要不可欠となっております。

こうしたことから、当山城病

院は、中埜院長先生の卓越した識見のもと、常に患者様の立場にたった医療を行うことを基本理念とし、救急医療、インフォームド・コンセントの充実など地域医療の発展のために全力を尽くすこととされております。

私は、こうした中埜院長先生の診療方針を支えながら、地域住民の幸せを願う立場から、持続的な医療サービスを提供できるように健全な病院経営にまい進していく所存であります。

政府の医療保険制度の大改革が進む中、病院経営をめぐる環境は、大変厳しいものがありますが、皆様方の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。次第であります。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と更なる御活躍を祈念いたしました。まことに簡単ではありますがありますが就任に際して一言ご挨拶とさせていただきます。



今後とも、よろしくお願い申し上げます。

最後にになりましたが、手術場の訓示にこんなのがありました。「やって見せねば、人は動かじ。」

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

この度、中埜院長のご推挙により、副院長を拝命致しました。新しい木津川市内には恭仁京跡などの国指定の史跡・名勝・重要文化財が五十五カ所あり、これは宇治市を越え京都市に次いで府下二番目となるそうです。JR木津駅も刷新、当院敷地内の老人保健施設「やましろ」も四月より始業、新市庁舎も来年完成と何もかもが新しく生まれ変わろうとしております。歴史・文化・自然そして新産業をもつて同市が益々の発展するよう祈念致します。さて当院は京都府南部の公的中核医療機関ですが、当院がこの地域の急発展に見合うだけの進化を遂げるには、多くの機能を備えていかなければなりません。院内の組織作りや先端医療機器・技術の導入などが必要となりますが、反面医療人としての慈愛の心が欠けない

中河裕治副院長就任の挨拶



私は、昭和五十六年に泌尿器科医として就職し、二

十六年間に臨床の現場で暮らしました。勤務医として残す所三年となった今年、副院長職を拝命する事は「恩返しをせよ」という天命のように思えます。

山城病院在職中の八年間に限りまして、中埜院長はじめ諸先輩より様々な御指導を受け、「現場主義」患者さんに思いを馳せている時が一番充実した時間」という、現場を歩み続ける者にとつて最も大切な事を教わりました。私にできる諸先輩への恩返しは、この「山城病院精神」を後輩に受け継ぐ橋渡し役となることであると決意し、副院長職を務めさせていただきます。

最後にになりましたが、手術場の訓示にこんなのがありました。「やって見せねば、人は動かじ。」

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

中井一郎副院長就任の挨拶



私は平成十六年に当院に赴任して参りましたが、

この度、中埜院長のご推挙により、副院長を拝命致しました。

新しい木津川市内には恭仁京跡などの国指定の史跡・名勝・重要文化財が五十五カ所あり、これは宇治市を越え京都市に次いで府下二番目となるそうです。

JR木津駅も刷新、当院敷地内の老人保健施設「やましろ」も四月より始業、新市庁舎も来年完成と何もかもが新しく生まれ変わろうとしております。歴史・文化・自然そして新産業をもつて同市が益々の発展するよう祈念致します。さて当院は京都府南部の公的中核医療機関ですが、当院がこの地域の急発展に見合うだけの進化を遂げるには、多くの機能を備えていかなければなりません。院内の組織作りや先端医療機器・技術の導入などが必要となりますが、反面医療人としての慈愛の心が欠けない

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

配慮も必要です。本年度の職員教育目標を「接遇と医療安全性の向上」と致しましたが、その実現のため資格試験・研修の奨励、院内研修などを推進して参ります。

地方病院での医師・看護師不足が大きな社会問題となっており、当院も例外ではなく、十分な医療ができない医療分野もありますが、地域住民の皆様により質の高い医療を気持ち良く受けて頂ける山城病院を目指しますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

老健「やましろ」オープン



老健「やましろ」の竣工式が三月三日に開催されました。

四月一日に開設を許可され、四月二日から入所受け入れを開始しました。

開設にあたりご協力いただきま

した皆様方に紙面を借りて御礼申し上げます。

老健「やましろ」の事業は施設入所百床と通所リハビリ二十人、短期入所を主な事業として運営していきます。

老健「やましろ」に対する皆様からの御質問が数多く寄せられておりますので、お答えいたします。

質問

(一)老健「やましろ」には、どんな方が入所できるのか？(二)いつまで入れるのか？(三)どうすれば入所できるのか？(四)費用はどのくらいかかるのか？

回答

(一)介護認定を受けた人で、身体症状の安定した人が入所するところです。医療と看護、介護等のサービスの提供を受けられます。(二)期間を定めて評価を行い、居宅に戻るよう支援することを目的にした施設です。(三)入所を希望される方は、老健「やましろ」に申し込み頂き、入所判定会議を経て入所していただきます。(四)費用は介護度や所得により異なりますが、通常四人室の場合、九万円〜十万円位、

個室の場合は、二十一万円〜二十万円必要になります。

通所リハビリのサービスは、木津川市と相楽郡を圏域として送迎サービスを行います。

詳しくは、老健「やましろ」までお問い合わせください。

老健「やましろ」は「利用者本位の自立支援と地域に根ざした施設」を理念に運営してまいりますので皆様のご支援よろしくお願います。

(写真は竣工式テープカット)



新任スタッフの紹介



内科診療部長 新井正弘

この度小山田先生の後任で四月からお世話になる新井正弘です。専門は消化器内科で、眞年生まれのいて座です。今まで京都府北部の勤務が多く南部は初めてですが、これまでの経験をいかしてがんばりたいと思いますのでよろしくお願います。



消化器内科医長 上村学

この度、消化器内科に赴任した上村です。三月までは、隣の精華町国保病院に七年おりました。また、十四年ほど前にも山城病院に二年勤務しましたが、あまりの変化に驚いています。今後とも、よろしくお願います。



内科医員
和田誠

内科常勤医師として四月より働かせて頂く和田誠といいます。消化器及びリウマチ・膠原病を中心に何でも見させて頂くつもりです。不明熱・関節炎などあればいつでも声をかけてください。よろしくお願ひします。



内科医員
河村基

はじめまして、内科の河村といひます。平成十一年奈良県立医科大学卒業後、一般内科医として勤務してまいりました。今後は京都府南部の地域医療に貢献出来るよう頑張つていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



小児科医員
藤井法子

本年四月から小児科勤務となりました。今までに勤務したいろいろな病院や保健所での経験を生かしながら診療に携わつていきたいと思ひます。何かと至らない点もあるかと思ひますが、よろしくお願ひ致します。



眼科医員
稲垣香代子

平成十九年四月一日から赴任いたしました眼科の稲垣香代子です。与謝の海病院という京都の最北端天橋立のそばからやつて参りました。患者様の納得がいく治療ができるよう心がけたいと思ひます。宜しくお願ひします。



内科医員
赤羽目聖史

この度、公立山城病院 循環器内科に赴任した赤羽目です。循環器疾患（心臓病）とはなにか？またその診断方法や治療方法について、患者様や地域の方々十分にご理解いただけるよう頑張つて参りますのでよろしくお願ひします。



内科医員
杉田倫也

はじめまして。二年間の研修をおわり、本年より内科医として当院で働くことになりました。皆様に教えてもらう事も多いと思ひますがよろしくお願ひします。

小児科医員
河井亜紀

京都府立医科大学から転勤して参りました。こちらには月・水・金で終日勤務しております。変則勤務でご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、お気軽に何でもお申し付けください。どうぞよろしくお願ひ致します。

紹介した
九名の医師
の他に、研
修医三名・
助産師一
名・看護師
十四名・放
射線技師二
名・臨床工
学技士一
名・事務員
三名の新規
採用があり
ました。



小山田前副院長退職の挨拶



平成六年に国立舞鶴病院から転勤してきて十三年間、私が赴任当初の山城病院はバブル崩壊のありを受け

て建てかえもままならず、ひときわ老朽化した建物と狭い駐車場、このような環境で十分な医療が出来るのかというのが最初の印象でした。しかしながら、当時の病院には、外科に岡村(前院長)、産婦人科に大谷前副院長、内科に池田(前内科部長)ありと、相楽郡ではカリスマ的な医師が昼夜をとわず働いておられ、住民との一対一の密な信頼関係が築かれていました。古き良き時代の公立病院の姿でした。

そして、平成十二年に新病院が完成し、山城病院は患者数の増加に対応するだけでなく、京都南部の中核病院として、HIVや新型インフルエンザの拠点病院としての役割、研修医や救急救命士の研修、ほとんどの相楽郡救急患者の受け入れなど、要求される責務は年々増加してきました。

した。それに加え、最近話題になる公立病院の医師不足、これは山城病院にとつても深刻な問題です。小児科、産科はもとより、内科、麻酔科

医の不足は医師のバーンアウトの危機にあります。今でも医師はこの仕事を「選ばれたものが担うべき社会的責任(ノブリス・オブリジエ)」と受け止め、時間外労働もいとわず日々臨床に従事していますが、いずれ限界がくるでしょう。当直明けでも休むことが出来ず連続三十二時間勤務、それが毎週。「なにがノブリスか!」と心の中でつぶやく医師もいるでしょう。相楽医師会の協力、住民の方々の理解を求めます。

以上のような様々な問題も抱えています。山城病院は着実に進歩しています。病院機能評価の取得、電子カルテの導入、日本で最高のCT導入など時代の先端を走っています。また私の後任には、京都第一赤十字病院消化器科から新井正弘先生が赴任します。この世代交代で山城病院の消化器科はますます充実したものになると信じています。

最後に、私も五十歳を過ぎました。プライベートではこれからも山城病

院のお世話になると思います。今後ともよろしくお願ひします。十三年間ありがとうございました。

診療科の紹介(産婦人科)



産婦人科 澤田重成

公立山城病院婦人科は以前から地域住民の方々によく利用していただき、期待に応えられるような分娩及び婦人科治療を心がけてきました。

平成十一年四月九階建ての新病院になってから分娩数は倍増し、最近では近隣分娩施設閉鎖の影響もあり平成十八年は分娩数が年間五八一例に増加しました。分娩数が増加すると異常産もふえますが、正常分娩、帝王切開共に安全第一を基本に考えています。青年期から更年期、老年期に向けてさまざまな婦人科疾患にも対応していますが、少子高齢化社会が本格化してきている現在、病気になる前の健康管理の重要性をより感じています。手術は腔式手術を多く

取り入れ、創部の工夫や美容的に配慮しています。電子カルテがはじまり診療形態も様変わりしましたが、電話予約が可能になり受診しやすくなったのではと思います。医療現場(特に産婦人科にとつては)厳しい冬の時代ですが、スタッフ一同力を合わせて乗り越えていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

看護部ニュース

春分の日も過ぎ、日増しに若葉が芽吹く季節になって参りました。住民の皆様には、日頃より病院の運営に暖かいご支援を頂きありがとうございます。看護部では今年二十名の新人職員を向かえ、力を合わせて看護の質の向上を目指していく所存であります。

- 一 安心・安全な職場をつくる
- 二 礼儀正しく思いやりのある接遇の実践
- 三 看護の標準化・質の向上を揚げました。一年間、目標に達成できるよう、各部署で年間計画

を立案し取り組んでいます。また、ふれあい箱への皆様からの様々なご意見は、真摯な気持ちで受け止め、接遇研修に生かして、日々の看護に当たり、地域の皆様により良い医療を提供できるように心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(看護部副総看護師長 谷村)

臨床検査科ニュース

臨床検査科が全国紙二紙に掲載されました。

株式会社じほう様より臨床検査科の見学依頼があり、ぜひ記事にしたいとの申し入れがありました。今回掲載された業界紙はジャパンメディスンと、メディアカルテストジャーナルでそれぞれ検査室の紹介としては珍しく一ページを占めていただきました。内容は検査データの永年保存を見据えたウェブサーバーの設置と臨床検査科のかかりつけ検査室



の考え方についての記事になりました。病院内に掲示してありますのでぜひ一読ください。



豆知識



アキレス腱にご注意!
整形外科 三浦清司

英雄アキレスが矢を射られて命を落としたというギリシャ神話から名づけられたアキレス腱は、人間の腱の

中で最も太いものですが、強い力がかかることや切り切れてしまいます。体力が落ちてきているのに無理をしやすいためか、三十代、四十代に多く発生します。切れる瞬間は棒が当たったり、けられたように感じる人が多いようです。切れても他の筋肉が働いて、足首を動かせたり、歩けたりするので切れたとは思わないことがあります。ギプスと装具で直す方法と早期復帰を目指して手術をする方法があります。

他にアキレス腱に痛みを生じる病気として、アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎があります。これらは使いすぎや体重増加、または逆に運動不足などから起こり、断裂につながる可能性もあります。いずれにしても、アキレス腱の障害を防止するには十分な準備運動、特にふくらはぎのストレッチを行い、またアキレス腱の辺りに違和感を感じたときは無理をしないことが大切です。スポーツによい季節になりました。けがをしないように楽しみましょう!



住民医療フォーラムのお知らせ



第一回住民医療フォーラム
公立山城病院 住民公開講座
メインテーマ

「妊娠、出産そして子育てのために」
内容

- 一 現在の出産を取り巻く環境
赤ちゃんにやさしいお産を目指して

講師 産婦人科部長 澤田重成先生
二 子育て支援
ゆりかごから成人まで
講師 小児科部長 辻井久先生
日時 平成十九年六月二日(土)
午前十時～十二時

参加費 無料
申し込み 不要(直接会場にお越しください)
当日はお車での来院はご遠慮ください。
主催 公立山城病院教育委員会

「看護の日」のお知らせ

あなたの健康は大丈夫？

日時 平成十九年五月十一日(金)
午前八時半～十二時

場所 公立山城病院
一階エスカレーター横

内容 健康チェック(身長・体重・体脂肪・血管推定年齢測定)
健康相談(健康・栄養・介護等の相談に専門スタッフが対応します)

各種パンフレット配布
記念品配布(タオル・ハンカチ・資料・バンドエイド等)
参加は無料です。

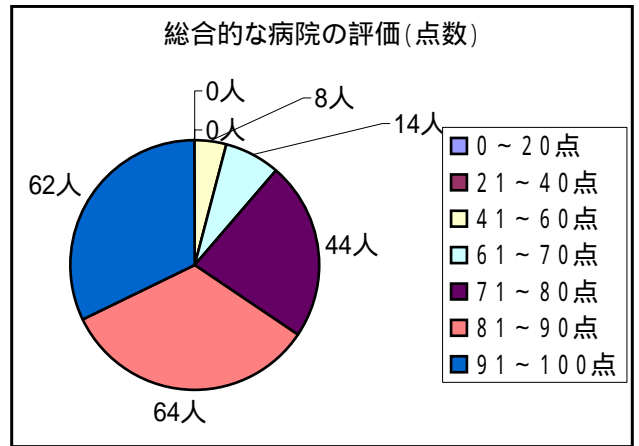
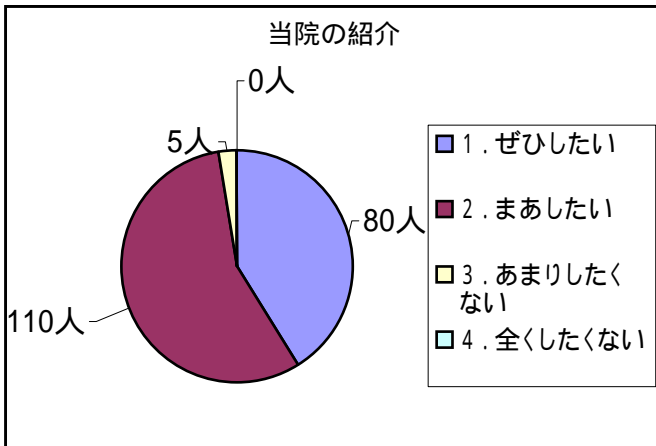
お気軽にお越し下さい。



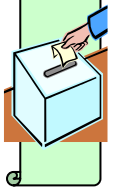
満足度調査の結果

入院患者様を対象に行った、満足度調査アンケート結果の一部を紹介いたします。結果は下記のグラフに示しました。

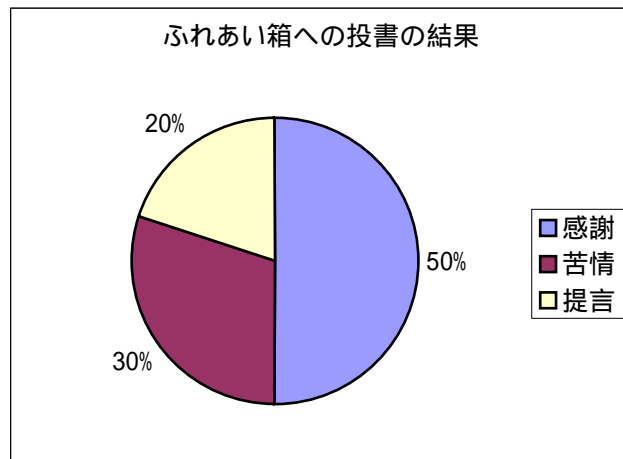
アンケート結果が非常に励みになりました。ありがとうございました。



ふれあい箱



ふれあい箱への投書ありがとうございました。昨年年度の皆様から寄せられた投書の内容は、左記のグラフのような結果でした。



最も多く寄せられましたのは、外来診療の待ち時間に関する苦情・提言でした。皆様の声をいただきまして検討を重ねた結果、本年四月より、内科診療項目を増やし、ご利用しやすい体制を整えました。

編集後記

満開を誇った桜が散り、葉桜をゆらす風の心地よい季節となりました。

山城病院も新しい職員を多数迎え、フレッシュな雰囲気の中、より一層地域の皆様に安心できる医療を提供すべく励んでまいります。

昨年より始まった山城病院新聞は、病院から患者様へのお知らせです。病院が良い病院であるためには、患者様の意見また地域の開業医の先生方の意見を反映させることが必要です。本紙がそうした相互関係の一助となればと考えます。

広報委員会

公立 山城病院

〒619-0214

京都府木津川市木津池田

74番地の1

Tel 0774-72-0235

Fax 0774-72-2155

ホームページ

http://www.yamashiro-hp.jp